

22. フウセンカズラ高齢者みまもり隊

グループ名 能生地区元気印の会

代表者 池田 正夫

① 活動の目的

- ・健康で子や孫と一緒に住める活気あふれるまちづくり
- ・高齢者支援活動
- ・地域コミュニティ活動

② 活動概要

12月2日 お楽しみ会

お年寄りを生涯学習センターにお招きして、昔の遊びや自分たちで考えたアトラクションを披露。手作りケーキでお茶を飲み歓談する。



12月12日 年賀はがき作り。見守ってきたお年寄りあてに手書きの年賀状を送る。

12月19日 クロッカスの水耕栽培の準備、ペットボトルで容器を作り、高齢者宅に届け、一緒に育てる。

5月12日 全校生徒に能生地域の現状を話し、児童全員でこの活動に参加してもらうことを説明する。その後6年生児童に活動の主体となって行動をしてもらうこととした。



300ポットに種まきをし、翌日から低学年の児童が水やりをすることにした。

6月4日 おとしよりのことをよく知ろうということから、地域包括に依頼して認知症養成講座を受講

【ねらい】

- ・人の体の老化の特徴について理解する。
- ・高齢者への対応について見直し、優しい対応をことができる。
- ・ロールプレイにより、高齢者の気持ちを考える。



6月26日 アリーナでフウセンカズラ高齢者みまもり隊発会式を実施。

【参加者】

糸魚川警察署長・地域振興局部長・元気印の会・民生委員・小学校5，6年生、学校職員・報道陣等

【苗の配布活動の展開】

元気印の会の方とグループ分け、顔合わせ後元気印の会の方々と児童と一緒に高齢者の家庭を訪問し苗と手紙を届ける。



6月30日 毎週5，6年生は高齢者宅訪問し、安否確認を開始。

7月20日 第1回リーダー会議

【参加者】

糸魚川警察署長・地域振興局部長・元気印の会・民生委員・小学校5,6年生、学校職員・報道陣等

【議題】

- ・今までの活動の経過について
- ・夏休み中の活動計画について

【内容】

- ・夏休み中のグループ分け
- ・元気印の会の協力体制について
- ・お年寄りに届ける「うちわ」の作成について
- ・塩飴の購入について
- ・お楽しみ会の計画について

③ 決算報告書

収入	大同生命厚生事業団助成金	50,000
支出	お楽しみ会材料費	9,702
	年賀はがき	5,720
	クロッカス球根代	8,002
	種まき培養土・ポット	11,813
	うちわ・塩飴	9,977
	リーダー会議飲物(3回分53人)	6,360
合	計	51,574